

個別施設計画(個票)

その他No. 1

施設名/棟名	岩手県防災航空センター			財産区分	行政財産							
所在地	花巻市葛3-183-1			施設類型	庁舎、事務所							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	799.67㎡		建築面積	192.9㎡		延床面積	363.96㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	2								
竣工年度(建築年月)	1996年7月29日		経過年数	R2.4.1現在 23								
利用状況	防災航空隊員の活動拠点として 365日/年 開庁											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	航空消防防災活動に必要な機器を適宜更新											
主な設備	事務室:執務室 会議室:隊員会議、隊員個人用装備保管 応接室:来客応接 無線機器室:航空、消防無線機材収蔵 機材庫:応援、受援用品保管 指揮車:防災航空隊員が地上隊として活動する場合等に使用											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	なし											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計	0	0	0	0								

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持管理
重要性	85点(地上での救助、救急、空中消火等消防活動が困難な状況下で航空消防活動を行う拠点として代替できない施設である。)
見通し	△15点(防災航空隊の活動拠点として防災航空センターは今後も必要。)
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 優先度3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:678千円 内訳 シャッター改修工事(500千円) 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	合計:1,390千円

施設名/棟名	総合防災センター/庁舎、事務所			財産区分	行政財産							
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	庁舎、事務所							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	544.01㎡		延床面積	877.92㎡					
構造	鉄筋コンクリート造		階数	2								
竣工年度(建築年月)	1986年3月25日		経過年数	R2.4.1現在 34								
利用状況	来館者数 8,825人(令和元年度)											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	地震体験室の起震装置の更新(東日本大震災の揺れを再現するプログラムの追加)や、利用者に配慮した施設改修を実施している。											
主な設備	防災展示室:パネル展示、体験コーナー等 地震体験室:震度4~7程度の地震を疑似体験できる 視聴覚教室:視聴覚機器(防災映画、防災ビデオ等)による教育を行う。 救命救急コーナー:救急救命対応の実演により心肺蘇生法の訓練を行う。 防災シアター:100インチマルチプロジェクションにより防災学習を行う 防災指導車:県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として整備。											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 1.屋根:経年劣化で退色が見られる。2.外壁、丸柱:壁タイルに浮き、亀裂有り。3.軒天:アルミパネルに白錆有り。4.1階東側:サッシのシーリングが破断している。5.1階事務室:風を伴う降雨時に雨水の侵入有り。6.玄関ホール、1階展示室:排煙窓オペレーターが作動不良。											
修繕工事履歴	平成26年11月:(煙体験装置)発煙用機器が老朽化で不作動の為、更新した。工事費:658,800円 平成27年3月:(トイレ改修)1、2階トイレの洋式化。工事費:2,494,000円 平成28年3月:(2階視聴覚室空調設備改修)2階視聴覚室の空調設備の撤去及び新設。工事費:1,998,000円 平成29年3月:(地震体験ローラー制作・交換)地震体験室において、揺れを発生させる部品が経年劣化による摩耗のため、制作、交換を行った。工事費:1,209,600円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	604	404		200								
H30	525	525										
H29	375	33		342								
H28	213	213										
H27	677	677										
計	2,393	1,851		542								

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒中~低
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高~中
1次評価	修繕・改修
重要性	80点(地震体験室や、煙体験室等、県民への防災知識・技術の普及及び防災意識を高める施設として代替できない施設である。)
見通し	△15点(施設は展示品や暗闇体験室等、流動的な使用が難しい。)
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:2,230千円 内訳 建築修繕(1,500千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	合計:6,550千円

施設名/棟名	総合防災センター/備蓄倉庫			財産区分	行政財産							
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	備蓄倉庫							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66m ²		建築面積	200m ²	延床面積							
構造	鋼鉄造	階数	1									
竣工年度(建築年月)	1986年3月25日		経過年数	R2.4.1現在 34								
利用状況	災害用の資機材を保管している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用												
主な設備												
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 外部鉄骨梁に発錆、外壁断熱鋼製パネル腐食、屋外照明器具腐食											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	なし											
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持・管理
重要性	65点(災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。)
見通し	△15点(災害時に必要とされる資器材を保管するという施設の特性上、多目的利用、余剰スペースの活用等は難しい。)
2次評価	II(60～50点)

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度4
評価結果(コメント)	災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。現在は大きな修繕を必要とする箇所はないが、計画的に修繕を行い施設の機能を維持していく必要がある、

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:227千円 内訳 外部電灯設備修繕 (100千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:1,627千円 内訳 外部シャッター修繕 (1,500千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	合計:2,235千円

施設名/棟名	岩手県消防学校/校舎本館			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	校舎							
都市計画区域	都市計画区域外 防火地域 指定なし			用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66m ² 建築面積		427.7m ²	延床面積	1,325.14m ²							
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	3階								
竣工年度 (建築年月)	1974.3.26		経過年数 R2.4.1現在	46年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・校長室 ・事務室 ・第一教室 ・第二教室 ・講堂 ・会議室 ・理化学実験室 ・教材展示室 ・図書室 ・講師控室		【電気設備】 ・受変電設備 ・自家発電設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備							
劣化度調査 (平成30年1月)	・屋上防水については築後改修歴ないため、塗膜防水の予防保全が必要 ・外壁は、クラックや塗装幕の浮きがあることから予防保全工事が必要 ・屋外階段はコンクリート基礎の劣化により早急な修繕が必要 ・外部建具については、排煙設備の基準に違反しているほか玄関ドア等の経年劣化 ・外構困障では、ネットフェンスの劣化、穴あきが目立ち、基礎天端モルタルの脱落等早急な修繕が必要		・照明器具は、更新時期を過ぎたままとなっている。その他スイッチ、コンセント等は建設時のままで経年劣化がみられることから早期の更新が必要 ・分電盤も建設時のままで経年劣化がみられ、早期の更新が必要		・給水設備の高架水槽は昭和48年製、耐震安全性考慮すると早急な更新が必要 ・配管類については、耐震対策が確認できない。給水管や暖房については改修が行われているが、PS内に既存配管がそのままのこされており、撤去が望ましい。 ・空調、暖房設備等は計画的な更新が必要。排水設備については配管全般に腐食が確認でき、今後、早期の更新が望ましい。							
	○劣化度調査の総合所見では、救急棟を除く施設の劣化度はほぼ同程度であるが、長寿命化改修に当たっては、5年以内の対応を要するとされた。											
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	H27 校舎玄関天井雨漏り修繕 H30 校舎本館外部階段塗装(1,998千円) H30 校舎玄関ドア改修(249千円)		H28 高圧区分開閉器交換 H29 キュービクル真空遮断器交換等		H30 消火栓用水道メーター交換							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	2,247	2,247										
H29					1,296	1,296			330	330		
H28					531	531						
H27	199	199										
計	2,446	2,446			1,821	1,821			330	330		

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A 簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	高 利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 (コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化のほか、校舎本館の耐震補強工事も未対応(保留のまま)であり、建替えも視野にいたれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修工事や非常用自家発電設備など、災害対応に係る部分は早急に整備する。 なお、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容			受電設備更新	視聴覚・校内放送	照明設備改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計: 769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計: 769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計: 6,269千円 内訳: 受電設備更新工事 (5,500千円) 維持修繕(769千円)	計: 6,057千円 内訳: 視聴覚・校内放送 改修工事 (5,288千円) 維持修繕(769千円)	計: 11,424千円 内訳 照明設備改修工事 (10,655千円) 維持修繕(769千円)	合計: 25,288千円
	財源: 一般財源	財源: 一般財源	財源: 一般財源	財源: 一般財源	財源: 一般財源	

個別施設計画(個票)

その他No. 5

施設名/棟名	岩手県消防学校/体育館(屋内訓練所)			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	体育館							
都市計画区域	都市計画区域外 防火地域 指定なし			用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66m ² 建築面積		900m ²	延床面積	1,071.5m ²							
構造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	2階								
竣工年度 (建築年月)	1975.3.28		経過年数 R2.4.1現在	45年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・訓練所 ・倉庫		【電気設備】 ・拡声設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備							
劣化度調査	・鋼板屋根、キャノピー屋根とも築後修繕履歴が確認できないことから、3～5年以内の大規模修繕(塗り替え)が必要。 ・外壁はサイディングのへこみ、固定ビスの脱落等が見られ、築後修繕履歴が確認できないことから、他の大規模修繕工事と合わせ改修工事が必要。 ・外部建具、内部建具とも経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具が建設時のままで、外観上も経年劣化が見られ、早い時期の更新が望まれる。 ・防災設備は、外観上不具合は見受けられないが、更新時期を過ぎていることから早い時期の更新が必要。		・各種設備において、当面、使用上特に問題はないが、今後計画的な更新が望ましい。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	なし		なし		なし							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 (コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
--------------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容					鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:19,202千円 内訳 鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事(18,581千円) 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	合計:21,686千円

個別施設計画(個票)

その他No. 6

施設名/棟名	岩手県消防学校/寄宿舍			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	寄宿舍							
都市計画区域	都市計画区域外 防火地域 指定なし			用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡ 建築面積		922.52㎡	延床面積	1,515.64㎡							
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	2階								
竣工年度 (建築年月)	1974.3.26		経過年数 R2.4.1現在	46年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・寮室 8人×14室 ・食堂 ・談話室 ・寮直室 ・舎監室 ・男子用浴室 ・女子用化粧室(トイレ・浴室)		【電気設備】 ・拡声(校内放送)設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備							
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。鉄板屋根は令和4年を目途に予防保全の塗り替えが望ましい。キャノピー屋根は改修歴がないことから、屋根塗装と同時期に塗膜防水の予防保全が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装膜の浮き膨らみがあり、3~5年後を目途に予防保全工事が望まれる。 ・外部建具は排煙設備の基準に違反している。鋼製建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要		・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・各種設備において、大きな問題はないが、今後、計画的に更新することが望ましい。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴					H27 寮舎浴槽用循環ろ過装置修繕							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27									281	281		
計									281	281		

【優先度評価】	
建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】	
総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 (コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

施設名/棟名	岩手県消防学校/救急訓練棟(接続廊下含)			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	校舎							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	307.24㎡	延床面積	520.6㎡						
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	2階								
竣工年度 (建築年月)	1993.3.29		経過年数 R2.4.1現在	27年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応 /公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・講義室 ・講師控室 ・実習室 ・高規格救急車実習室		【電気設備】 ・拡声(校内放送)設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・暖房・空調・換気設備							
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られないが、今後10年程度内に予防保全としてウレタン保護防水層設置工事を実施することが望ましい。 ・外壁はクラックや塗装幕膜の浮きが少数見られ、今後10年程度内に予防保全工事を実施することが望ましい。 ・内部建具は経年による損傷や塗装の剥がれが目立つ。 ・内部仕上げ材は経年による汚れやクラック、剥がれが目立つ。		・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要		・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・空調設備、暖房設備等については、今後計画的な更新が望ましい。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	なし		なし		なし							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果 (コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	合計:1,510千円

施設名/棟名	岩手県消防学校/主訓練塔			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	198.12㎡	延床面積	719.66㎡						
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根		階数	8階								
竣工年度(建築年月)	1997.3.24		経過年数	R2.4.1現在 22年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・訓練用器具庫 ・バルコニー		【電気設備】 ・拡声設備 ・人荷用エレベータ ・防災設備(雷保護設備)		【機械設備】 ・給水設備							
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に府大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備(雷保護設備)は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。		・事後保全対象でよいと思われる。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	H28 主訓練塔外周部陥没対策 H29 主訓練塔建物外壁及び外部階段補修		H30 主訓及び補助訓非常照明電池交換(1,186千円) H30 笠木ステンレスカバー製作取付(605千円) R2 主訓練塔エレベーター制御盤他修繕(15,708千円) R2 主訓練塔等避雷針修繕(396千円)									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30					1,791	1,791						
H29	2,484	2,484										
H28	329	329										
H27												
計	2,813	2,813			1,791	1,791						

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	エレベータ改修工事 避雷設備改修工事		非常用照明改修工事			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:16,521千円 内訳 エレベータ改修工事(15,708千円) 避雷設備改修工事(396千円) 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:4,628千円 内訳 非常用照明改修工事(4,211千円) 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	合計:22,401千円

施設名/棟名	岩手県消防学校/補助訓練塔			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42577.66m ²		建築面積	96.64m ²	延床面積	308.24m ²						
構造	鉄筋コンクリート造 陸屋根		階数	5階								
竣工年度(建築年月)	1997.3.24		経過年数 R2.4.1現在	23年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】		【電気設備】 ・拡声設備		【機械設備】 ・給水設備							
劣化度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備(雷保護設備)は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事後保全対象でよいと思われる。 							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	H28 補助訓練棟バルコニー補修											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	1,026	1,026										
H27												
計	1,026	1,026										

【優先度評価】	
建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】	
総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	避雷設備改修工事		非常用照明改修工事			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:179千円 内訳 避雷設備改修工事(396千円) ※主訓練塔工事で計上 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:979千円 内訳 非常用照明改修工事(800千円) 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	合計:1,695千円